



各 位

日本航空電子工業株式会社

弊社平成 28 年 3 月期決算について

本日、平成 28 年 3 月期決算を東京証券取引所に届けましたのでお知らせいたします。

●平成 28 年 3 月期決算概要

当社グループの平成 28 年度 3 月期の連結業績は、

- 売上高 1,794 億 94 百万円 (前年度比 94%)
- 営業利益 179 億 28 百万円 (前年度比 69%)
- 経常利益 169 億 45 百万円 (前年度比 73%)
- 当期純利益 125 億 15 百万円 (前年度比 79%)

となりました。

この業績の背景・要因は以下によるものです。

世界経済は、期前半においては緩やかな回復基調で推移しましたが、第2四半期後半から、中国経済の減速や世界的な株式市場の低迷、原油価格の大幅下落など、一転して厳しさが増し、わが国経済においても、こうした世界経済の影響や個人消費の停滞から、力強さに欠ける状況となりました。

当社グループの関連するエレクトロニクス市場においては、自動車市場は概ね堅調に推移しましたが、特に、中国経済減速の影響によるスマートフォンの成長鈍化や産業機器市場の低迷から、市場全体として厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、グローバルマーケティングと新製品開発活動の展開による受注・売上の拡大、内製化・自動化によるコストダウン、設備効率化による生産性向上、諸費用抑制など経営全般にわたる効率化をこれまで以上に強化し、業績向上に努めましたが、外部環境の悪化に加え、携帯機器分野において、年度後半に所要減少の影響を受けたことから、上記の業績となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株につき 15 円を予定しております。この結果、当期の年間配当金は、中間配当金(15 円)とあわせて1株につき 30 円となります。

●平成 29 年 3 月期通期見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、中国を中心とする新興国経済の成長鈍化や地政学リスクの継続、株価低迷や原油価格下落による不安定な為替動向などから、一層厳しさが増しておりますが、携帯機器市場では、スマートフォンの機能進化による需要が見込まれ、自動車市場では電装化の進展が期待されています。

当社グループは、このような市場環境において、積極的な事業活動を展開し業績向上に努めてまいります。

こうした状況から、通期連結業績の次期見通しにつきましては、

- 売上高 2,100 億円 (前年度比 117%)
- 営業利益 190 億円 (前年度比 106%)
- 経常利益 175 億円 (前年度比 103%)
- 当期純利益 130 億円 (前年度比 104%)

を予想しております。

なお、次期見通しの前提となる為替レートは、1 米ドル 110 円としております。

また、次期の配当金につきましては、中間配当金、期末配当金それぞれ1株につき 15 円、年間配当金 30 円を予定しております。

以 上